

平成 30 年度 COC+事業 実践力養成型（寺子屋式）インターンシップ
学生向け振り返り会 実施報告

(1) 主旨・目的

インターン生を対象に、インターンシップを通して得られた学びや気づき、参加前後での職業観などの変化について振り返り、これをもとに今後の学生生活の課題を展望するための振り返り会を実施した。なお、本会は平成 28 年度及び平成 29 年度のインターンシップ修了生の有志により立ち上げられた、インターンシッププロジェクトをマネジメントしサポートするチーム、IPP00 (Internship Project Perform Outwork Operation) が企画・運営を行った。

(2) 日時

平成 31 年 1 月 26 日（土）13 時 30 分～17 時 00 分

(3) 場所

徳島大学常三島キャンパス 地域創生・国際交流会館 3 階 共用室 301

(4) 参加者

インターンシップ生 40 名
インターンシップ修了生 6 名

(5) アンケート結果

①参加した感想

- ・このインターンで自分が何を得たのか、改めて認識する機会となった。正直一人では学んだことを自分に落とし込むのが難しかったため、道程を示していただけてとても有難かった。
- ・自分の強みや何が今の自分を作っているのか知ることができてよかった。
- ・今日の振り返り会に参加して、自分の成長したところ、これから自分が成長していく上で必要になってくるものを明確にすることができてよかったです。
- ・最終報告会が終わってから少し間が空き、忘れていたことが多々あったが、ここでしっかり振り返られてよかった。
- ・IPP00 の方の工夫をととても感じた。ワークショップの時、修了生がファシリテーターをしてくれたので、とても話しやすかった。
- ・振り返り会がなかったら、活動しっぱなしになっていたと思うので、参加してよかったです。今後に生かそうと思いました。
- ・自分のプロジェクト以外で苦労したこと、学んだことを知り、意見を深められた。それぞれ様々な悩みがあり、それを乗り越えて強みにすることができたのかなと思った。

②インターンシップに参加しての気付き・学び

- ・学び・気づきは山ほどありますが、全体を通して自分の価値観を知ることが常に大切なのだと感じました。いかなる判断も行動もその価値観に左右されるって本当にそうだなと思いました。
- ・プロジェクトを進めるときには「対象・目的」をしっかり決めることの大切さを学んだ。
- ・コミュニケーションの難しさや大切さを感じた。どうすれば、自分の言いたいことが伝わるのか、相手の考えていることの真意は何か。チームでプロジェクトに取り組んだからこそ得られたのかなと思う。
- ・大きくて漠然とした課題を一つ一つ整理していくことで問題解決につながるということが分かりました。そのプロセスはとても大変でしたが、今考えるととてもいい経験になったと思います。
- ・様々な事が多くあったが、一番気づき・学びとして良かったのは良いチームを作るのも大事であるが、

良い成果物を作ること意識すればチーム内での関係があやしい場合、自身のモチベーションになることに気づけた。

- ・チームで一つのミッションを持って動くことをとても甘く考えていたと思う。ミッションを明確にすること、そのミッションの方向も適しているか自問してみることが、今の自分にも必要である事に気づかされた。
- ・価値観の相違によるコミュニケーションの違いから「こんな視点もあったんだな」と思えた。対立するだけでなく、そこからプロジェクトの完遂のために対応することを覚えた。(例えばメンバー間の問題にせず、企業とのミーティングで自ら意見を発信するなど)
- ・「なぜ」を考えるくせがついた。
- ・本当の受益者は誰か、その人に自分達の成果物をどう影響させていくべきかを考えることができた。

(6) 振り返り会の様子

